

# 地球温暖化防止活動推進員の活動を支援しています

～2019年度 推進員第1回スキルアップ研修会～



11月8日にホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸において推進員第1回スキルアップ研修会を開催しました。この研修会は、推進員第1回及び第2回全体研修会に続くもので、活発な意見交換を通じた情報共有と推進員の皆様のスキルアップを目的としたものです。市町村職員を含め約70名の参加で開催しました。

## 第1部 基調講演「SDGsを推進する自治体の役割」

東海村長 山田修氏

[講演要旨]各市町村がSDGsに取り組むことは避けられない。環境が担当課であるが、SDGsは非常に分かりづらく、環境を超える分野まで関わってくるので、企画サイドがきちんと動かしていかないとできないのではないかと。内閣府において地方創生に向けた自治体SDGsを推進してもらっており、県内では、つくば市がSDGs未来都市に選定されている。東海村では、SDGsの理念を盛り込んだ2020年度からの総合計画を策定中である。



職員の理解が必要なことから今年度研修会を実施した。これから、住民や中小事業所の方々にどう説明していくかが課題である。9月には、ひたちなか青年会議所とSDGs推進ティアアップ宣言をした。東海村の今後のまちづくりの最重要テーマは、「人づくり」と考えている。村内でも役員になるような方が減ってきている。村民のニーズが多様化しており、これまでの村内一律のサービスではなく、地域の支え合い機能を今風にアレンジした地域づくりが必要となってくる。また、基盤づくりについては、都市環境の整備、行政サービスの充実、村民参加の意識醸成が大切である。最後に、SDGs未来都市に向けて、社会と環境、経済の3側面を結ぶ新しいテーマを考えているので、早く答えを見つけてSDGs未来都市に向けて進めていければと思っています。

## 第2部 「地域気候変動適応計画作成のポイント」

環境省関東地方環境事務所

環境対策課 地域適応推進専門官 川原博満氏

最初に、第5次環境基本計画で提唱した地域循環共生圏の説明がありました。次に、気候変動適応法では都道府県及び市町村は地域気候変動適応計画作成の努力義務があり、現在、全国で16府県、7政令市及び5市が策定済みである。地域の情報拠点である「地域気候変動適応センター」が立ち上がり、地域毎に「気候変動適応広域協議会」が設置された。



気候変動適応の進め方は、必ずしも大掛かりな取組を必要としない、対象地域における気候変動影響をしっかりと分析し、それぞれの特性に応じた取組を進めることで、経済的かつ効果的に気候変動適応を進めることが可能である。策定の流れは8つのSTEPに分けて実

施し、STEP 1 の準備及び STEP 7 の適応策の取りまとめと計画策定、STEP 8 の計画の進捗状況の確認は環境部局が担当する。その他のSTEPは他部局にお願いすることになる。

また、入手できる情報に応じて、いくつかのSTEPにおいては、3つ程度のステージに分けて、情報の具体的な収集方法が説明されている。ベースは県の計画を参考にし、地域に合った計画を策定してくださいとの説明がありました。

### 第3部 SDGs 事例講演

#### ① 「環境自治体会議からSDGsを考える」環境自治体会議事務局長 小澤はる奈氏

環境自治体会議は、環境自治体をめざす自治体同士が、情報交換や相互交流、研究・実践活動を進める場として作られたネットワーク組織で、1992年に始まりました。環境自治体とは、自治体のすべての政策分野で環境優先の考え方を取り入れ、地域において環境の視点に立ってまちづくりを推進し、同時に自らの活動（事務事業）において環境配慮を実現しようとする自治体です。



主要な活動としては、アドバイザー会議（附属機関の環境自治体環境政策研究所）による環境政策の推進、全国大会や政策講演会、首長意見交換会、担当者意見交換会、視察研修会をとおした情報ネットワークづくり、そして環境自治体白書やわがまちの環境自慢による情報発信・政策提言となっています。

会員数の減少が続いており、2020年度に新組織を立ち上げて、地域発のSDGs達成による持続可能性の向上を新組織の当面の活動目的とするとの発表がありました。

#### ② 「推進員としての行動」 とうかい環境村民会議 低炭素社会部会 副部会長 佐藤章一朗氏

推進員活動として、第1回とうかい環境フェスタ 2002年の実行委員となり、環境自治体会議には2003年第11回屋久島会議から参加、2005年の東海村会議、2018年のなめがた会議などの説明がありました。次に、低炭素社会部会の各種活動、最後に自社資材置場に風力発電を手作りで設置したことなどの紹介がありました。



### 第4部 エコ工作のワークショップ 茨城県地球温暖化防止活動推進員グループ econet もと 代表 石井直也氏

常磐大学生の手を借りて、参加者の皆さまに遮熱シートに思い思いの絵付けをしてもらい、自宅の窓に貼ってもらうために各自持ち帰ってもらいました。

